

葛飾総合高等学校 平成30年度 教科国語科目国語総合 年間授業計画

教科：国語 科目：国語総合 単位数：4単位

対象学年組：第1学年A組～F組

教科担当者：α（A組：猪狩）（B組：猪狩）（C組：猪狩）（D組：川合）（E組：川合）（F組：川合）

教科担当者：β（A組：川合）（B組：川合）（C組：川合）（D組：猪狩）（E組：猪狩）（F組：猪狩）

使用教科書：（国語総合〔筑摩書房〕）

使用教材：（国語総合 課題ノート〔筑摩書房〕）

| | 指導内容 | 科目国語総合の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|----|--|---|--|----------|
| 4月 | α 評論1 「水の東西」・「テルミヌスの変身」 | <ul style="list-style-type: none"> ・逆説的な論理展開を理解する。 ・「序論」「本論」「結論」の三段構成の評論の型を理解する。 | 内容の理解度とともに授業態度、提出物状況、小テストを評価する。 課題提出状況、小テスト、考查の点数、出欠状況をもとにする。 | 3 |
| | β 古文入門 「児のそら寝」・「絵師良秀」・「大江山」 | <ul style="list-style-type: none"> ・親しみやすい説話を読み、古典を読み解くおもしろさを体験する。 ・古語と現代語の違いを知り、音読に慣れる。 | | 3 |
| 5月 | α 小説 「羅生門」 中間考査 | <ul style="list-style-type: none"> ・周到に計算された描写や比喻などの表現技巧を整理し、その効果と小説世界の有機的な構造を考える。 ・「下人」と「老婆」のやりとりや小説の結末を通して、人間が自分の進退や生死などに関する選択や決断で苦悩するときの思考のあり方を考察する。 | | 3 |
| 6月 | α 評論2 「話を複雑にすることの効用」 小説2 「神様」 | <ul style="list-style-type: none"> ・逆説的な論理展開を理解する。 ・「序論」「本論」「結論」の三段構成の評論の型を理解する。 ・小説の時代背景や主人公の立場などをまとめる。 | 同上 | 5 |
| | β 物語 「竹取物語」・「伊勢物語」 | <ul style="list-style-type: none"> ・伝奇物語・歌物語や、『竹取物語』『伊勢物語』の特徴について理解し、歌物語の展開を把握する。 ・場面の展開を把握する。 | | 5 |
| 7月 | 定期考査 | | | |
| 8月 | | | | |
| 9月 | α 評論3 「言語と文化」「貧困は自己責任なのか」 | <ul style="list-style-type: none"> ・言語と文化の関りについて、文脈に沿って理解する。 ・現代社会が抱えている問題について読み取る。 | 同上 | 3 |
| | β 古文入門 「大江山」 | <ul style="list-style-type: none"> ・和歌を含む古文に慣れ親しみ、和歌への興味や関心を深める。 ・和文脈の説話を読み、古語や古文文法への理解を深める。 | | 2 |

| | 指導内容 | 科目国語総合の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 配当 時数 |
|-----|-------------------------------|---|----------|----------|
| 10月 | α 小説3 「清兵衛と瓢箪」 | <ul style="list-style-type: none"> 小説の時代背景や主人公の立場などをまとめる。 瓢箪の手入れの仕方などの細部が丹念に語られることによって生み出される効果を考える。 | 同上 | 3 |
| | β 随筆 「徒然草」 | <ul style="list-style-type: none"> 作者の考え方や感じ方を正確に読み取らせる。 重要語句や文法を身につけさせる | | 3 |
| | 定期考査 | | | |
| 11月 | α 小説3 「とんがり焼きの盛衰」 短歌・俳句 | <ul style="list-style-type: none"> 作品内のさまざまなものが何を諷刺しているか読み取る。 和歌の技法について学び、正確に読み取るとともに、自分なりの感想を持つ。 | 同上 | 3 |
| | α 小説三 「セメント樽の中の手紙」 | <ul style="list-style-type: none"> 「女工」の手紙に対する「松戸与三」の受け取り方を読み取る。 「七人目の子供を見た」という結末が暗示するものは何か、考える。 | | 3 |
| | β 軍記 「平家物語」 | <ul style="list-style-type: none"> これまで培った基礎力をいかし、長い古文を読む力をつけさせる。 敬語や助動詞、音便など、表現の細部とその効果について理解させる。 | | 5 |
| | 定期考査 | | | |
| 12月 | | | | |
| 1月 | α 小説三 「セメント樽の中の手紙」 | <ul style="list-style-type: none"> 「女工」の手紙に対する「松戸与三」の受け取り方を読み取る。 「七人目の子供を見た」という結末が暗示するものは何か、考える。 | 同上 | 3 |
| | β 故事 「画竜点睛」「朝三暮四」 | <ul style="list-style-type: none"> 画家としての力量を描く逸話を正確に読み取らせる。 再読文字「未」の用法を通して「再読文字」の概念を確認させる。 「狙公」の心の動きと行動を正確に理解させる。 再読文字「将」、疑問の助字「乎」の用法や、置き字を理解させる。 | | 3 |
| 2月 | α 記録 「空き缶」 | <ul style="list-style-type: none"> 作中人物の会話・行動・体験・記憶を整理して、それぞれの心理を理解する。 作中人物の記憶や体験がどのように物語として構成されているかを理解する。 | 同上 | 4 |
| | β 唐詩 「春暁」「絶句」 | <ul style="list-style-type: none"> 五言絶句・七言絶句・五言律詩・七言律詩の形式(字数・句数・押韻)を理解させる。 漢詩における表現上の特色として、「対句」を理解させる。 | | 4 |
| | 定期考査 | | | |
| 3月 | | | | |